

議会運営委員会行政視察概要

令和6年11月14日（木）

於 委員会室

午前10時00分～午前11時30分

1 調査概要

「オンライン委員会の運営方法について」

「委員会のインターネット中継について」

豊橋市議会

豊橋市では、令和2年からオンライン委員会の開催について検討をはじめ、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、令和4年5月に委員会条例の改正を行った。

オンライン委員会の開催要件は、重大な感染症のまん延又は災害等の発生等により、委員の参集が困難と認められる時であるが、オンライン委員会の開催は、調査研究のための委員会に限定されている。

なお、開催にあたっては、正副委員長の現地参集及び本人確認（映像と音声による）が必須とされている。また、オンライン委員会では、投票による表決は行うことができないとされている。

現在まで、オンライン委員会が開催されたケースが1回ある（令和4年8月）が、委員の発言機会の確保という点では目的を達成しているが、細かい技術的な課題（通信上のトラブル）が少なくないとの事であり、今後の課題との事であった。

委員会のインターネット中継については、より市民に開かれた議会を実現するため、平成29年9月からYouTubeを利用し、事務局職員により行われており、導入費用やランニング費用が抑えられているが、配信トラブル時の対応などの業務負担が大きいとの事であった。

2 主な質疑応答

問 委員会のオンライン開催要件である重大な感染症まん延時とは、何をもって重大とするのか。

答 新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されたような

まん延状況、市内全域にまん延しているという状況を想定している。

問 オンライン委員会開催に伴う費用は。

答 Web 会議システムとして、Zoom を使用しているが、アカウントを持っているので、それを利用している。当初オンライン用のシステム改修費用は発生したが、それ以降は基本的に発生していない。

問 通信障害が生じた場合、延べ5分以上の遮断があった場合は、議長が退出させるという事であるが、本人に非が無い場合でも欠席扱いとなるのか。

答 欠席扱いとなる。現状、そこまで回線が繋がらない状況は起こらないという認識である。

問 防災訓練の中でオンライン会議を開催しているとの事だが。

答 オンラインにより、各議員の安否確認や各地の被害状況、災害対策本部から提供された情報の報告、共有のための全議員による会議や正副議長と総務委員会正副委員長による協議を訓練として行っている。

問 本会議の中継も職員で対応しているのか。

答 本会議は平成14年3月定例会からケーブルテレビ、平成23年6月定例会からインターネット中継を実施しているが、いずれも業務委託により行っている。

問 YouTube での委員会放映の視聴回数については、どのように評価しているか。

答 賛否の分かれる議案が多かったというところもあるが、平成29年の開始以来順調に伸びてきていると考えている。今後、視聴者の年齢層等の分析を行い、若い世代に関心を持っていただける取組みを考えたい。

問 編集の際に、発言内容をテロップや手話として入れるなど、誰もがみれる中継となっているか。

答 YouTube の字幕機能により、視聴者が任意で字幕を利用することは可能だが、動画は公式記録ではないため、議会として提供を行っていない。今後の検討課題である。

問 中継を始めて傍聴者の数に影響はあったか。

答 今までは、傍聴に来ないと見れない、聞けないという事があったが、現状、特に関心がある分野の傍聴とか、応援したい議員の傍聴とか、傍聴者のタイプが分かれてきていると感じている。

以上